

公立小松大学大学院サステイナブルシステム科学研究科規程

令和4年4月13日

規程第14号

(趣旨)

第1条 公立小松大学大学院サステイナブルシステム科学研究科(以下「研究科」という。)に関する事項については、公立小松大学大学院学則(以下「大学院学則」という。)及び公立小松大学学位規程に定めるもののほか、この規程の定めるところによる。

(課程)

第2条 研究科の課程は、博士課程とし、これを前期2年の課程(以下「博士前期課程」という。)及び後期3年の課程(以下「博士後期課程」という。)に区分し、博士前期課程はこれを修士課程として取り扱うものとする。

(専攻)

第3条 研究科に次の専攻を置く。

- (1) 生産システム科学専攻
- (2) ヘルスケアシステム科学専攻
- (3) グローカル文化学専攻

(教育研究上の目的)

第4条 研究科においては、公立小松大学が有する工・文・医系の知的人的資源を活かし、AI・データ科学や他者とのコミュニケーション能力を共通リテラシーとして涵養し、地域・世界の持続性に資する多様な専門知識と技能を備え、時代と社会の変化にしなやかに対応できる人材育成を図ることを目的とする。

2 専攻における人材養成に関する目的その他教育研究上の目的は、別表第1のとおりとする。

(研究科長)

第5条 研究科長は、研究科を担当する専任の教授(常勤の特任教授を含む。)をもって充てる。

2 研究科長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の研究科長の任期は、前任者の残任期間とする。

3 研究科長の選考に関し必要な事項は、別に定める。

(研究科委員会)

第6条 研究科委員会は、公立小松大学研究科委員会規則第3条に定める事項について審議する。

(専攻長)

第7条 研究科の各専攻に専攻長を置く。

2 専攻長に関し必要な事項は、別に定める。

(入学者の選考方法)

第8条 入学志願者に対しては、学力検査、面接等を行うとともに、入学志願者の出身大学長、学部長又は研究科長等から提出される成績証明書等を審査し、合格・不合格を判定する。

(授業科目及び単位数)

第9条 研究科の授業科目及び単位数は、別表第2のとおりとする。

(単位の計算方法)

第10条 授業科目の単位は、1単位45時間の学修を必要とする内容とし、次の基準によるものとする。

- (1) 講義及び演習については、15時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実習については、30時間から45時間の授業をもって1単位とする。

(指導教員)

第11条 研究科委員会は、学生ごとに研究指導の内容を定め、研究指導を担当する教員(以下「指導教員」という。)を指定するものとする。

- 2 博士前期課程にあつては、指導教員は博士前期課程を担当する教員とし、自専攻からは主任指導教員1名と副指導教員1名を配置し、他専攻からは分野横断的専攻専門科目の履修や専門分野を超えた課題研究に関して助言・指導を行うアドバイザー教員1名以上を配置する。
- 3 博士後期課程にあつては、指導教員は博士後期課程を担当する教員とし、自専攻からは主任指導教員1名と副指導教員1名の2名の教員による指導体制を基本とし、他専攻からも専門分野を超えた学位論文執筆の基礎となる特別研究に関して助言・指導を行うアドバイザー教員1名以上を配置する。

(研究指導)

第12条 学生は、指導教員の指導の下に、研究題目を定め、別に定める研究題目届(別紙様式第1)により研究題目及び研究計画を指導教員に届け出るものとする。研究題目を変更するときも同様とする。

- 2 前項の届出を受けた指導教員は、速やかに別に定める研究指導計画書(別紙様式第2)を作成し、研究科長に届け出るものとする。

(授業科目の履修等)

第13条 学生は、学年又は学期の始めに、履修しようとする授業科目を研究科長に届出て、その承認を得なければならない。

- 2 学生は、研究科長の許可を受けて、本学の学部の授業科目を履修することができる。
- 3 前項の規定により履修した授業科目の修得単位は、修了に必要な単位に含めることができない。

(他大学院における授業科目の履修等)

第14条 学生は、研究科長の許可を受けて、研究科が定める他大学の大学院において、当該

大学院の所定の授業科目を履修することができる。

2 前項の規定により履修した授業科目の修得単位は、研究科委員会の議に基づき、博士前期課程にあつては10単位を、博士後期課程にあつては6単位を超えない範囲で研究科の単位として認定し、修了に必要な単位に含めることができる。

3 前2項の規定は、学生が、外国の大学院に留学する場合についても準用する。

(他大学院における研究指導等)

第15条 学生は、研究科長の許可を受けて、研究科が定める他大学の大学院又は研究所等において研究指導を受けることができる。ただし、当該研究指導を受ける期間は、博士前期課程では1年を、博士後期課程では1年半を超えないものとする。

2 前項の規定により受けた研究指導は、研究科委員会の議に基づき、研究科の研究指導の一部として認定することができる。

(入学前における授業科目の履修等)

第16条 研究科は、教育上有益と認めるときは、学生が入学する前に他大学の大学院において修得した授業科目の単位を、研究科の所定の授業科目を修得した単位とみなすことができる。

2 前項の規定により修得したとみなされる単位は、研究科委員会の議に基づき、転入学等の場合を除き、第14条第2項により本学の単位として認定する単位数と合わせて、博士前期課程では10単位を、博士後期課程では6単位を超えない範囲で研究科の単位として認定し、修了に必要な単位に含めることができる。

(単位修得の証明)

第17条 研究科長は、単位を修得した学生が願い出た場合には、単位修得証明書を交付するものとする。

(学位論文及び最終試験の審査)

第18条 学位論文及び最終試験の審査の方法は、別に定める。

(研究生)

第19条 特別聴講学生、特別研究学生及び研究生として入学を願い出た者については、研究科委員会の選考を経て、学生の学修に妨げのない限り、入学を許可することがある。

2 特別聴講学生、特別研究学生及び研究生について必要な事項は、別に定める。

(雑則)

第20条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は、研究科委員会が定める。

附 則

この規程は、令和4年4月13日から施行し、令和4年4月1日から適用する。

附 則

この規程は、令和5年4月5日から施行する。

附 則

- 1 この規程は、令和6年4月1日から施行する。
- 2 令和5年度以前の入学者については、なお従前の例による。

別表第1（第4条関係）

専攻	課程	目的
生産システム 科学専攻	博士前期課程	データ・情報の新しい集積・活用法のみならず、医・文分野の考え方も加えた幅広い展開力と社会実装力を備え、地球・地域に根ざした生産システムの開発と持続可能社会の建設に貢献できる高度専門職業人の育成を図る。また、将来の発展を担う研究者や教育者の養成も図る。
	博士後期課程	持続的な社会の創造に対する意識、およびサプライチェーンの不確実性などの社会情勢の変化に対する関心を常に持ちながら「ものづくり」による社会貢献を達成することが重要である。その下で「ものづくり」についての課題を見出し、専門的および学際的学識を修得して持続可能な社会に貢献する製品やシステムの研究、開発、生産プロセスの構築など、多様な方面で活躍できる人材育成をめざす。
ヘルスケアシ ステム科学専 攻	博士前期課程	生命倫理学に立脚したデータ・情報の新しい集積・活用法に通曉し、工・文分野の考え方も加えた幅広い展開力と社会実装力を備え、持続可能なコミュニティづくりや医療機器開発に貢献できる高度専門職業人の育成を図る。また、将来の発展を担う研究者や教育者の養成も図る。
	博士後期課程	持続的に発展できるコミュニティヘルスケアを構築するために、健康と福祉に関する知識や研究能力を活用できる高度専門職業人、研究者、または大学教員を社会に送り出す。同時に、他分野の専門家とも積極的に協働していくことで、コミュニティヘルスケアに関する現存の課題の解決策を提案していける人材の育成をめざす。
グローバル文 化学専攻	博士前期課程	データ・情報の新しい集積・活用法に通曉し、工・医分野の考え方も加えた幅広い展開力と社会実装力を備え、望ましい持続可能性のために行動し、世界のあらゆる場でリーダーシップを発揮して多文化共生と国際社会に貢献できる高度専門職業人の育成を図る。また、将来の発展を担う研究者や教育者の養成も図る。
	博士後期課程	南加賀および北陸に軸足を置き、アジアを中心とした国際文化研究、すなわち、本学の強みである、観光学、政治・経済学、言語文化学を、例えば日本と中国、日本と東南アジア、そしてそれらの地域・国を取り巻く世界の国々との比較研究を通じて、そこで得られた課題解決にあたる能力と実践を身につけ、最終的には本学が立脚する南加賀および北陸地域に応用していく方向性がある。同時に、地域・国際課題を発見し、それを横断的・複眼的な視座から解決を試み、確固とした倫理観に裏打ちされた行動様式を意識しながら、地域を活性化できる人材育成をめざす。

別表第2（第9条関係）

生産システム科学専攻博士前期課程

科目 区分	授業科目の名称	単位数		
		必修	選択	自由
専門 共通 科目	持続可能な社会の科学-SDGs Basic	2		
	データ科学概論		2	
	IoT・AI 概論		2	
	コミュニケーション特論		2	
	アカデミック・イングリッシュ		2	
	小計（5科目）	2	8	0
専門 応用 科目	持続可能な社会への展望-SDGs Advanced A	2		
	持続可能な社会への展望-SDGs Advanced B	2		
	小計（2科目）	4	0	0
専攻 専門 科目	次世代エネルギーシステム特論		2	
	エネルギー変換特論		2	
	先進材料・加工学特論		2	
	次世代生産システム特論		2	
	構造最適設計特論		2	
	構造ダイナミクス特論		2	
	計測制御システム特論		2	
	電気通信制御特論		2	
	アルゴリズム特論		2	
	画像認識特論		2	
	小計（10科目）	0	20	0

分野横断的専攻専門科目	サステイナブル ライフ・エシックス特論		2	
	ヘルスバイオエンジニアリング特論		2	
	サステイナブル コミュニティ創造特論		2	
	多文化共生社会特論 A (文化一般)		2	
	地域資源学特論 A (自然・文化・社会資源：理論)		2	
	言語文化特論 A (英語文化圏)		2	
	小計 (6 科目)	0	12	0
自由科目	ヘルスケアシステム概論			2
	高齢者包括ケアシステム特論			2
	生体代行システム特論			2
	メディカル・サイバネティクス特論			2
	多文化共生社会特論 B (観光一般)			2
	地域資源学特論 B (自然・文化・社会資源：実践)			2
	グローバルスタディーズ特論 A (アジア・インド太平洋)			2
	グローバルスタディーズ特論 B (中東・旧ソ連)			2
	言語文化特論 B (漢字文化圏)			2
	小計 (9 科目)	0	0	18
修了科目	修了研究 A	2		
	修了研究 B	2		
	修了研究 C	2		
	修了研究 D	2		
	小計 (4 科目)	8	0	0
合計 (36 科目)		14	40	18

ヘルスケアシステム科学専攻博士前期課程

科目 区分	授業科目の名称	単位数		
		必修	選択	自由
専門 共通 科目	持続可能な社会の科学-SDGs Basic	2		
	データ科学概論		2	
	IoT・AI 概論		2	
	コミュニケーション特論		2	
	アカデミック・イングリッシュ		2	
	小計 (5 科目)	2	8	0
専門 応用 科目	持続可能な社会への展望-SDGs Advanced A	2		
	持続可能な社会への展望-SDGs Advanced B	2		
	小計 (2 科目)	4	0	0
専攻 専門 科目	ヘルスケアシステム概論	2		
	サステイナブル ライフ・エシックス特論	2		
	高齢者包括ケアシステム特論		2	
	ヘルスバイオエンジニアリング特論		2	
	生体代行システム特論		2	
	メディカル・サイバネティクス特論		2	
	サステイナブル コミュニティ創造特論		2	
	小計 (7 科目)	4	10	0
分野 横断的 専攻 専門 科目	次世代エネルギーシステム特論		2	
	アルゴリズム特論		2	
	画像認識特論		2	

	多文化共生社会特論 A (文化一般)		2	
	地域資源学特論 A (自然・文化・社会資源：理論)		2	
	言語文化特論 A (英語文化圏)		2	
	小計 (6 科目)	0	12	0
自由科目	エネルギー変換特論			2
	先進材料・加工学特論			2
	次世代生産システム特論			2
	構造最適設計特論			2
	構造ダイナミクス特論			2
	計測制御システム特論			2
	電気通信制御特論			2
	多文化共生社会特論 B (観光一般)			2
	地域資源学特論 B (自然・文化・社会資源：実践)			2
	グローバルスタディーズ特論 A (アジア・インド太平洋)			2
	グローバルスタディーズ特論 B (中東・旧ソ連)			2
	言語文化特論 B (漢字文化圏)			2
	小計 (12 科目)	0	0	24
修了科目	修了研究 A	2		
	修了研究 B	2		
	修了研究 C	2		
	修了研究 D	2		
	小計 (4 科目)	8	0	0
合計 (36 科目)		18	30	24

グローバル文化学専攻博士前期課程

科目 区分	授業科目の名称	単位数		
		必修	選択	自由
専門 共通 科目	持続可能な社会の科学-SDGs Basic	2		
	データ科学概論		2	
	IoT・AI 概論		2	
	コミュニケーション特論		2	
	アカデミック・イングリッシュ		2	
	小計 (5 科目)	2	8	0
専門 応用 科目	持続可能な社会への展望-SDGs Advanced A	2		
	持続可能な社会への展望-SDGs Advanced B	2		
	小計 (2 科目)	4	0	0
専攻 専門 科目	多文化共生社会特論 A (文化一般)		2	
	多文化共生社会特論 B (観光一般)		2	
	地域資源学特論 A (自然・文化・社会資源：理論)		2	
	地域資源学特論 B (自然・文化・社会資源：実践)		2	
	グローバルスタディーズ特論 A (アジア・インド太平洋)		2	
	グローバルスタディーズ特論 B (中東・旧ソ連)		2	
	言語文化特論 A (英語文化圏)		2	
	言語文化特論 B (漢字文化圏)		2	
	小計 (8 科目)	0	16	0
門 科 目 的 専 攻 専 断	次世代エネルギーシステム特論		2	
	アルゴリズム特論		2	

	画像認識特論		2	
	サステイナブル ライフ・エシックス特論		2	
	ヘルスバイオエンジニアリング特論		2	
	サステイナブル コミュニティ創造特論		2	
	小計 (6 科目)	0	12	0
自由科目	エネルギー変換特論			2
	先進材料・加工学特論			2
	次世代生産システム特論			2
	構造最適設計特論			2
	構造ダイナミクス特論			2
	計測制御システム特論			2
	電気通信制御特論			2
	ヘルスケアシステム概論			2
	高齢者包括ケアシステム特論			2
	生体代行システム特論			2
	メディカル・サイバネティクス特論			2
	小計 (11 科目)	0	0	22
修了科目	修了研究 A	2		
	修了研究 B	2		
	修了研究 C	2		
	修了研究 D	2		
	小計 (4 科目)	8	0	0
合計 (36 科目)		14	36	22

生産システム科学専攻博士後期課程

科目 区分	授業科目の名称	単位数		
		必修	選択	自由
研究科 共通科目	SDGs と社会のガバナンス	1		
	人類の持続的発展の科学	1		
	国際・地域特別実習	2		
	小計 (3 科目)	4	0	0
専攻 専門科目	環境熱流体解析学特論		2	
	先進 IoT・AI 特論		2	
	先端製造テクノロジー特論		2	
	システム情報科学特論		2	
	最適構造制御特論		2	
	小計 (5 科目)	0	10	0
科目 特別 研究	特別研究	12		
	小計 (1 科目)	12	0	0
合計 (9 科目)		16	10	0

ヘルスケアシステム科学専攻博士後期課程

科目 区分	授業科目の名称	単位数		
		必修	選択	自由
研究科 共通科目	SDGs と社会のガバナンス	1		
	人類の持続的発展の科学	1		
	国際・地域特別実習	2		
	小計 (3 科目)	4	0	0
専攻 専門科目	コミュニティ ヘルスケア概論 A		2	
	コミュニティ ヘルスケア概論 B		2	
	コミュニティ ヘルスケアとユビキタス医工学特論		2	
	医療と多文化共生特論		2	
	小計 (4 科目)	0	8	0
科目 特別 研究	特別研究	12		
	小計 (1 科目)	12	0	0
合計 (8 科目)		16	8	0

グローバル文化学専攻博士後期課程

科目 区分	授業科目の名称	単位数		
		必修	選択	自由
研究科 共通科目	SDGs と社会のガバナンス	1		
	人類の持続的発展の科学	1		
	国際・地域特別実習	2		
	小計 (3 科目)	4	0	0
専攻 専門科目	国際文化学特論 A		2	
	グローバル文化学特論 A		2	
	国際文化学特論 B		2	
	グローバル文化学特論 B		2	
	南加賀・北陸文化資源学特論		2	
	小計 (5 科目)	0	10	0
科目 特別 研究	特別研究	12		
	小計 (1 科目)	12	0	0
合計 (9 科目)		16	10	0